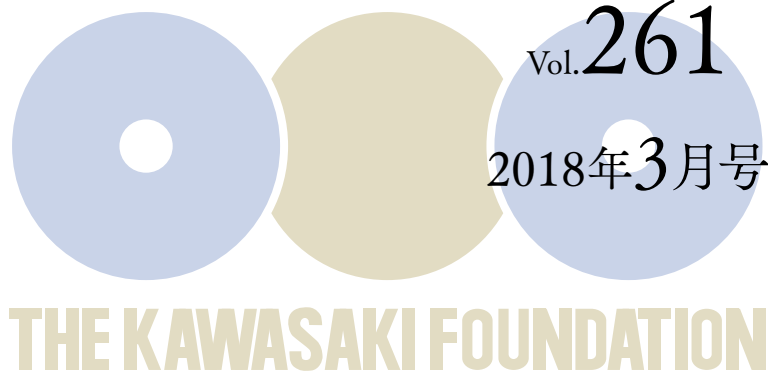


公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌

かわさき アートニュース



Vol. 261

2018年3月号



02 | 特集

第113回 川崎市定期能

～多くの人に伝えたい、能楽の力～

インタビュー: 山井綱雄さん(シテ方金春流能楽師)

CONTENTS [目次]

05 | 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

06 | 音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール

09 | イベントレビュー

10 | 美術

市内ギャラリー情報

13 | 演劇

アルテリオ小劇場

14 | 映画

アルテリオ映像館

第113回 川崎市定期能

～多くの人に伝えたい、能楽の力～

インタビュー／山井 綱雄さん
(シテ方金春流能楽師)



川崎能楽堂が1986年4月に開館して以来、30年以上にわたり続く「川崎市定期能」。「日本の伝統芸能の伝承」を目的として、年3回開催しています。公演回数は100回を超え、これまでに延べ2万人以上の方に会場いただきました。
今回、金春流の能楽師に初めて「川崎市定期能」にご出演いただきます。
第一部の能「羽衣」で主役を演じる、金春流能楽師 山井綱雄さんに、金春流について、そして上演する演目の見どころについて、お話を伺いました。

能楽最古の歴史

——今回、初めて川崎能楽堂にご出演いただくにあたり、金春流についてお聞かせください。

金春流は、1400年という能楽最古の歴史をもっています。聖徳太子に仕えた、秦河勝^{はだのこうかつ}を家祖とし、現宗家・金春憲和師^{こんばるのりかず}で81世を数えます。初代が聖徳太子の時代の方なんて漫画みたいなロマンのある話ですが、現在までずっと家がつながっているんですよ。

能楽の中では最も古式を守り、芸風は「雄大にして素朴」という風に言われます。

能楽以前の歴史が長いので、奈良の春日大社で行っている神事は、現在も金春流が主に行っています。「天下泰平、国土安穩、五穀豊稔」を祈り続けてきたのが我が流派で、どんなことがあっても、歴代の家元が脈々と守り続けてこられました。

流儀の特徴を具体的に言うと、観世流は高音域に彩りを持って謡いますが、金春流は低音を多用する流派です。地を這うように謡い、下からテーブルを持ち上げるようなイメージで低音に力を入れて声を出します。野外でやっていた歴史が長いので、型も大きく、それで「雄大にして」と言われるんですね。腕をどんなに大きく使ってもいいし、謡の節回しも囃子方にとらわれずに大きく謡う、そういうところが金春流の特徴です。

祖父の血

——山井さんは、どのようなきっかけで能の世界に入られたのですか？

私の母方の祖父は、金春流能楽師 梅

村平史朗といいます。祖父は戦後の時代で大変苦労したので、自分の子どもや孫に能楽をやらせることを反対していたそうですが、誰も継がないのは不憫^{ふひん}だという祖父の高弟・富山禮子先生^{とみやまのりこ}のお声もあり、本来は遠い存在であるはずの私が5歳で初舞台を踏むことになりました。

祖父はその時すでに病に伏しており、私は祖父から芸を教えてもらったことがありません。でも幸いなことに、直接教わらなくても周りにいる人たちが、芸を伝え繋いでくださった。そういうことで、伝統芸能の世界は続いています。

私の初舞台の録音を病床の祖父に聞かせたところ、「さすが俺の孫だ」と言ったそうです。やはり嬉しかったのでしょうね。その三か月後に祖父は他界しました。

小学校4年生のときに79世宗家 金春信高先生^{のぶ}に入門しました。信高先生は家元であられながら私の祖父の戦友のような方で、

「梅村は苦楽をともした、私にとってかけがえない存在だった。よく来たね」と、手取り足取り金春宗家の芸を教えてくださいました。

不思議なことに、私は能楽師としての祖父の姿を見たことも聞いたこともなかったのですが、稽古の途中で信高先生が「不思議だね、梅村に舞も謡もよく似ている。やっぱり血なんだね」と、孫である私のことを非常に懐かしそうに見ていらっしゃいました。

小学校6年生のとき、祖父の七回忌の追善能で初シテ(主役)を勤めました。その舞台の前日、私の母の枕元に祖父が出てきて「明日の綱雄の舞台は心配するな。俺と一緒に舞うから」と言ったそうです。当日舞った時の記憶は、無我夢中でほとんどありません。

その舞台を終えたあと、能楽師になることを決心しました。



2014年5月16日 薪御能 咒師走の儀 翁 十二月往来 金春憲和 撮影:国東薫



『和心伝心』東京国際フォーラム 上妻宏光 藤原道山 山井綱雄
Photo: Wataru Nishida (WATAROCK) Amin Kawabe (WATAROCK)

大スペクタクル! 能「舍利」

—— 今回上演する演目の見どころについてお聞かせください。

能「舍利」は、能「羽衣」とは非常に対照的な曲です。

足疾鬼が、お釈迦様の歯や骨である有り難い「仏舍利」を盗み、天井を蹴破って逃げてしまいます。仏舍利がなくなってしまったので「これは大変だ、正義の味方を呼ぶしかない」と、足の速い韋駄天が登場します。後半は、場面が宇宙に変わり、天上界から地獄へと次元を超えて、足疾鬼と韋駄天が宇宙全体で壮大な追いかっこを繰り広げます。大スペクタクルで、どんな方が観ても楽しんでいただける曲です。

これを実写でやるとしたら、最新の映像技術を駆使して表現するのですが、能楽の場合は観る方の想像力を働かせていただきます。日本の伝統芸能は余白の文化です。

このことを、私は西洋絵画と水墨画の違いに例えます。西洋絵画は、写実的に筆を重ねますが、水墨画は、何も描いていない余白は見る側の想像力にゆだねます。

能舞台も同じで、人によって見え方が変わります。100人の想像が100通り違ってても全部正解で、1人の方が10年、20年後にまた同じ演目を見たとき「以前見たときと全く見え方が違う」と思っていたいただいても良いのです。能楽は想像の文化です。

解釈の余地がたくさんあるということは、それだけ自己投影されるということでもあります。

能「羽衣」に隠された裏テーマ

—— 山井さんが主役をなさる「羽衣」はいかがでしょうか。

能「羽衣」は、有名な「羽衣伝説」をもと



能の魅力について語って下さる山井さん

にした話ですが、能だけ他と結末が違います。私個人の見解ですが、実際に「羽衣」を何度も演じている人間として感じるのは、ただ単に、衣を返してお礼に舞ったという話ではなく、裏に大きなテーマがあるように思うのです。

全く違う存在である天女と人間が心をつかち合い、共存共栄する。これこそが、能の最大の良さであり、能が訴えること、そして金春流が長きにわたって寿福を祈ってきたということにもリンクします。

日本には古くから神道がありましたが、仏教が入ってきて、現在では神社とお寺が共存しています。多様性を享受する日本人の素晴らしさは、2年後にオリンピックがやってきて、世界中が日本に注目する今まさに、発信するべきことだと思います。

そういう時に、日本の伝統文化が非常に役に立つと思うのです。能楽は昔からのことを真面目に繰り返し伝えていきますから、日本人の心が凝縮されています。

ただ、私は昔のことはそのまま全部良いと思っているわけではなくて、「温故知新」の精神で、今の時代に合わせなくてはいけないこともあると思っています。

能楽界の扉を開く

—— 山井さんは他ジャンルのアーティストとの共演を積極的に行っていますね。

私がお他ジャンルの方と共演をするようになったのは、二つのきっかけがありました。

一つは、渋谷駅で見たある新聞社の巨大ポスターです。そこにはこう書いてありました。「あなたは能を観たことがありますか 2% 内閣府の調査による——」。私はそれを見た時、雑踏の中で茫然自失の状態で立ち尽くしました。いくら「世界に誇れる日本の伝統文化」と言っても、日本の国民が2%しか見たことないなんて、誰も見たことがないに等しい。能楽は現在、国から丸ごと保護されているわけではないので、お弟子さんやお客さんが増えていかなければ成り立ちません。要は商業演劇と根底は何も変わらないのです。このままじゃ駄目だと思いました。

もう一つは、我が親愛なるデーモン閣下からの言葉です。私は、わりと自由に育てて



能「羽衣」

いただいたので、中学校2年生のときに聖飢魔IIのコピーバンドを組んでいました。そのバンドは今でも続いていて、ライブではあの格好で歌います(笑)。

閣下は伝統文化が大好きで造詣も深く、伝統文化の方とのコラボレーションをライフワークにされており、共演させていただく機会がありました。

その時に閣下が「伝統芸能の世界では誰かが扉を開かなくてはなりません。能楽の世界では、貴方がその扉を開く人だと私は思いますよ」と言ってくださいました。私の中で何かの歯車が動き出しました。

コラボレーションをする意味

初めてのコラボレーションは2003年10月、ある番組で、押尾コータローさんのギターで舞うことでした。全国放送、土曜の19:30から、それも番組の冒頭でギターと能のコラボを放送すると言われて、一晩考え、当時の家元(80世宗家 金春安明)に電話をかけてお話ししました。家元はしばらく腕組みして考え込んでいらしたらしいのですが、「君がやる意味があると思うなら、やりなさい」と言ってくださいました。

放送終了後のある日、他流の偉い先生が私に歩み寄り、「お前、この前テレビに出てギターと何かやっていたよな」と話しかけられました。私は「どんな批判でも罵倒でも



勿来の鎮魂祭での能「羽衣」上演の様子



覚悟しよう」と思い始めたことだったので、歯を食いしばっていたら、「面白かった」と言ってくださったのです。時代の変化を実感しました。

コラボレーションする時にいつも心がけていることは、同業者にも初めて観る人にも、理解してもらえる内容にすることです。能の本質を伝えないと意味がありません。

数年前、水樹奈々さんのライブで、京都の平安神宮に集まった2000人の観客の前で舞ったのですが、名前も知らない若者から「私は能を観たことはありませんが、今日の山井さんの舞を見て興味が出たので、今度能楽堂に行ってみようと思います」と、Twitterでメッセージが届きました。それを見て、心底やって良かったと思いました。

能の未来

私がこんなことをしていると、少し前の時代なら「そんな暇があったら稽古だ。能は腕で勝負しろ」と言われたと思います。それはもっともですが、誰も見ていないところで腕を磨いても意味がありません。でも、能はそうなりがちな世界なのです。

私は今、能楽界にとっても危機感を持っています。私たちには伝承していく責任がありますから、石に噛り付いたって、未来に伝えていかなければなりません。そういう思いで、私は他のジャンルと交流します。考えを切り替えて、一つの啓蒙、宣伝、突破口としてコラボレーションする。何かのキッカケで、難しいと思われる能の敷居をまたいで、能楽堂に来て伝統的な能を観てもらい、この素晴らしい文化をできるだけ多くの人に知ってもらいたいと思います。

能「羽衣」が起こした奇跡

—— 最後にお客様へのメッセージをお願いします。

今回「羽衣」を演じるにあたって、忘れられない体験があります。

東日本大震災の翌年、津波で更地となったしまった福島県いわき市の岩間海岸で開催された「勿来（いづみ）の希望 鎮魂祭」に出席し、能「羽衣」のシテ（主役）を勤めました。

能楽師は依代です。能を演じる時は、舞台の手前の「鏡の間」という場で集中し、己という存在を取り払い、装束をつけて能面

に一礼をしてから顔につけ、登場人物を憑依させます。私は、東北の大地に天女が降りて来て、寿福の宝を降らしてほしいという思いで現地に赴き、能楽師の仲間10数名も手弁当で一緒に来てくれました。

しかし、現地に着いたら一週間雨が降り続いていて、当日も一向に止む気配がありません。風も強いので、特設舞台には雨が吹き込みびしょ濡れでした。中止するか、雨天決行するかという状況のなか、ボランティアスタッフのある男性が、怒りながら言いました。「こんなに素晴らしいことをやっているのに、雨が止まないじゃないか。俺たちは、どうせ天に見放されたんだ」。

そんな言葉を耳にしながら、共演者たちにどうするか問いました。囃子方は鼓が濡れたら大変ですし、ワキ方だって立派な装束をつけます。でも皆は「やるに決まっているじゃないか。雨でもいい、関係ないよ」と言ってくれて、土砂降りの中「羽衣」を上演することになりました。

土の上にビニールを敷いた舞台で、雨風に煽られて倒れそうになりながら必死に舞いました。能面の視野はとても狭いのですが、被災者の方たちがカッパを着て観ていてくれる背後に、瓦礫がふた山見えていました。

クライマックスの場面、天女が衣を返してもらい、いよいよ舞を舞うという時、瓦礫の山の向こうの空が二つに割れました。そこからパーッと太陽の光が一筋、差し込んだのです。驚いて我を忘れました。お客さんからは、天女に光が当たったように見えたそうです。終演後は見事な快晴になりました。

終わったあと、私は装束を着たまま舞台上がり、「皆さん空を見てください！ 晴れない空はありません。これこそ勿来の希望です、頑張ってください！」とマイク持って絶叫しました。すると、皆さんが一斉に拍手してくださって、「天に見放された」と言っていた男性も拍手をしてくれているのが見えました。

鎮魂の芸能といわれる能の力で奇跡が起きた時、私自身も能の凄さを実感しました。生涯忘れられません。

私は「羽衣」を舞うたびに、この経験が頭に浮かびます。そんな能の力、素晴らしさを、少しでも3月の川崎公演で皆さんに感じていただいて、日本の文化、そして「日本の心」を改めて見直し、何かを感じて考えていただくきっかけになればと思います。

開催概要

Information

第113回川崎市定期能

[日時] 平成30年3月25日(日)

第1部13:00開演

狂言「昆布売」大藏教義(大蔵流)
能「羽衣」山井綱雄(金春流)

第2部15:30開演

狂言「伯母ヶ酒」大藏教義(大蔵流)
能「舍利」本田芳樹(金春流)

[会場] 川崎能楽堂(川崎市川崎区日進町1-37)
川崎駅東口より徒歩5分

[入場料] 各部4,000円

U25 各部3,000円

※25歳以下の方。脇正面、中正面エリアのみ選択可。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

◎定期能をより楽しむための事前講座

[日時] 平成30年3月10日(土)

10:00~12:00(予定)

[会場] 川崎能楽堂

[料金] 無料

(第113回川崎市定期能チケット購入者対象)

[講師] 高橋 忍(金春流・シテ方)他

[定員] 148名(先着順)

●チケット取扱

川崎能楽堂 TEL 044-222-7995

●お問合せ

公益財団法人 川崎市文化財団
TEL 044-222-8821

プロフィール

Profile

山井 綱雄

Yamai Tsunao

金春(こんばる)流能楽師。
重要無形文化財(総合認定)保持者
(公社)能楽協会会員。
(公社)金春円満井会
常務理事。



79世家故金春信高、80世家金春安明、富山禮子に師事

金春流能楽師であった祖父の影響で5歳で初舞台。以来、「乱」「石橋」「望月」「道成寺」「翁」「正尊」「安宅」等の大曲を披露。

全国にて能楽公演、学校普及公演、講演会を多数開催。

2012年2月「外国特派員協会」にて能楽師初の講演会開催、2014年11月洋楽の殿堂「ビルボードライヴ東京」、2015年3月アメリカ・ロサンゼルスでの「グラミーミュージアム」にて能楽師初のライブ開催をはじめ、スコットランド・エディンバラ演劇祭参加、カナダ能公演(日本国総領事招聘の文化使節団長として)、フランス、アメリカ公演、カナダ芸術家創作による能オペラ「Kayoi-Komachi」参加等、海外での能楽普及、創作にも尽力。

「能舞エヴァンゲリオン」発表、洋楽邦楽問わず他ジャンル芸術家とのコラボレーション多数。

2011年、NHK大河ドラマ「江」ではオープニング映像での能舞創作と指導、本編能楽指導を手掛ける。

2014年、平成26年度 文化庁文化交流使に就任。文化庁長官依託の日本国文化特使として、アメリカ、ヨーロッパ、カナダにて日本伝統文化の普及と外国文化との交流に尽力。

2016年、NHK大河ドラマ「真田丸」に能シテの出演と能楽監修・指導を手掛ける。

2017年には、カナダ・バンクーバーにて、現地作曲家オペラ歌手と能オペラ「KAYOI KOMACHI ~komachi visited~」を共同制作し主演、好評を博し、能とオペラとの新しい可能性を開拓した。

「能楽は世界最高の芸術である」との信念の下、「日本人のココロ」の啓蒙に奔走。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

街道シリーズその16

街道歩きをもっと楽しくするために『東海道と本陣』

東海道の本陣について、その役割やさまざまな出来事、本陣利用などについて触れていきたいと思います。(八杉 淳)

日時：3月17日(土) 14時開演(13時30分開場) 料金：無料(事前予約なし)

定員：先着80名(自由席) 会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

講師：草津宿街道交流館 館長 八杉 淳



八杉 淳

第8回 前座・二ツ目激励

「お昼の落語」

日時：3月21日(水・祝) 14時開演(13時30分開場)

料金：無料(事前予約なし) 定員：先着80名(自由席)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：前座 橘家かな文(かなぶん) 二ツ目 柳家花ん謝(かんしゃ)



橘家かな文



柳家花ん謝

「昭和30年代 なつかしい店先展」

紙粘土などを使って、細部まで表現されたいろいろなお店を展示します。

日時：3月6日(火)から4月8日(日) 午前9時から午後5時まで

会場：東海道かわさき宿交流館3階展示室 料金：無料



前回展示の様子

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、
JR川崎駅東口より徒歩10分



ミュージア川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報



ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集 第136回

ノットが贈る、スタイリッシュな古典派音楽

同じハ長調の交響曲第8番「ザ・グレート」と区別して「小ハ長調」といわれる「交響曲第6番」。当時売れっ子だったロッシーニの作品の影響を受けてシューベルトが書いた作品です。どこにロッシーニの影響が表れているのかに注目しながら後半のシューベルトを聴いていただくと楽しさが倍増すること間違いなし。

[日時] 4月22日(日) 14:00開演

[出演] 指揮: ジョナサン・ノット

ファゴット: 福井 蔵(東京交響楽団首席奏者)

[曲目] ロッシーニ:歌劇「絹のはしご」序曲

ロッシーニ：ファゴット協奏曲 シューベルト：交響曲第6番

[チケット] S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円

C席3,000円 当日学生席1,000円



第7回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

[日時] 3月25日(日) 15:00開演

[出演] 指揮: 準・メルクル

管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ

[参加音楽大学] 上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学、愛知県立芸術大学(愛知)、名古屋芸術大学(愛知)

【曲目】 ドビュッシー：交響組曲『春』 シューマン：交響曲第1番「春」 ストラヴィンスキー：バレエ音楽『春の祭典』

[チケット] S席2,000円 A席1,500円



MUZAスペシャル・ナイトコンサート90

【チケット】 各回とも全席指定:3,500円 (小学生~25歳)1,000円

5月9日(水) 19:00開演

世界的トロンボーン奏者による、スーパーユニットが誕生!

【出演】 Slide Monsters Featuring 中川英二郎、ジョゼフ・アレッシ、
マーシャル・ギルクス、ブランド・アテマ [4 trombone]

【曲目】トライセンス(中川英二郎作曲) 他

Slide Monsters のメンバーによる管楽器ワークショップ(クラシック⇄ジャズ)開催決定! ※詳細はWebをご覧ください。

6月1日(金) 19:00開演

ザ・キングズ・シンガーズ ～英国が誇る、究極のア・カペラⅡ～

【出演】 ザ・キングズ・シンガーズ(合唱)

【曲目】 ダニーボーイ、オブラディ・オブラダ、ふるさと

シューベルト:男声合唱曲「夜」 他



2/16(土)
一般発売

お申込み・お問合せ ● ミューザ川崎シンフォニーホール [TEL] 044-520-0200(10:00～18:00) [チケットカウンター] 10:00～19:00
[Web] ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/> ミューザ 検索

日本を代表するジャズ・トランペッター 日野皓正と
ビッグバンドで贈るエキサイティングな一夜!



Exciting Night

エキサイティング
ナイト



トランペット:
日野皓正

Trumpet: Terumasa Hino



トランペット: 西尾健一
Trumpet: Kenichi Nishio



トロンボーン: 片岡雄三
Trombone: Yuzo Kataoka



アルトサックス: 多田誠司
Alto sax: Seiji Tada



ピアノ: 石井 彰
Piano: Akira Ishii



ベース: 金澤英明
Bass: Hideaki Kanazawa



ドラムス: 石若 駿
Drums: Shun Ishiwaka

& Dream Jazz Big Band SETAGAYA

2018年 3/27 (火)

19:00開演 / 18:00開場

(20:30終演予定、途中休憩あり)
※年間ラインナップチラシより開場時刻が変更となりました。

■チケット(全席指定・税込) ※[]内は友の会会員料金
指定席: 3,500円 [3,150円]、学生券: 1,000円 (25歳以下の学生)
スペシャルシート: 4,000円 [3,600円] (1ドリンク付き / 400席限定)

会場・お問合せ ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 (10:00~18:00)

主催: ミューザ川崎シンフォニーホール (川崎市文化財団グループ)
協力: 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

助成: 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

beyond
2020

共催	1 木	宮崎国際音楽祭 in 川崎	サロン・コンサート「ひなたの一日」	お問合せ:(公財)宮崎県立芸術劇場 0985-28-3208
	会場:市民交流室	【モーニングコンサート】11:00 / 【ティータイムコンサート】15:00 / 【ナイトタイムコンサート】19:00 ※モーニングコンサート 0歳から入場可 4歳よりチケットが必要です		
主催	3 土	モーツァルト・マチネ 第32回		
	11:00	指揮:秋山和慶 バス:妻屋秀和 合唱:東響コーラス ♪歌劇『皇帝ティトの慈悲』序曲 / 『エジプト王ターモス』のための3つの合唱と5つの幕間音楽		
	3 土	クラシカ・エール 新感覚コンサート Presented by エール管弦楽団		
	18:30	指揮:鯉坂圭司 管弦楽:エール管弦楽団 ♪ベートーヴェン:交響曲 第9番 他		お問合せ:エール管弦楽団事務局 050-5218-2434
	4 日	ミュージア川崎ホリデーアフタヌーン2018前期 「春への憧れ」千住真理子ヴァイオリンリサイタル		
	13:30	ヴァイオリン:千住真理子 ピアノ:山洞 智 ♪メンデルスゾーン:春の歌、歌の翼に / クライスラー:美しきロスマリン / ドヴォルザーク:我が母の教え給いし歌 他		お問合せ:神奈川芸術協会 045-453-5080
主催	7 水	MUZAオルガン講座 第3回「わたしとメシアン」		
	14:00	プレゼンター:近藤 岳(オルガニスト) 聞き手:飯田有抄(音楽ライター)、大木麻理(オルガニスト) ♪サルヴェ・レジーナによるパラフレーズ 他		会場:市民交流室
	7 水	東京交響楽団 ファンタスティック・オーケストラ ～みんなで集えるコンサート～		
	16:00	指揮:角田鋼亮 ソプラノ:橋本夏季 ナビゲーター:朝岡聡 ♪フォーレ:レクイエムより / ストラヴィンスキー:火の鳥 ※プロジェクション・マッピング付 他		お問合せ:TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511
	8 木	東芝グランドコンサート 2018 サカリ・オラモ指揮 BBC交響楽団		
	19:00	ヴァイオリン:アリーナ・ポゴストキーナ(ヴァイオリン) ※当初の予定から変更になりました ♪チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 他		お問合せ:クラシック事務局 0570-012-666
	10 土	戸塚区民オーケストラ 第30回 定期演奏会「Allチャイコフスキー!!」		
	13:30	指揮:井崎正浩 ピアノ:ファルカシュ・ガーボル ♪チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 / チャイコフスキー:交響曲 第6番「悲愴」 他		お問合せ:戸塚区民オーケストラ(貝原) 045-866-2884
主催	11 日	第5回 被災地復興支援チャリティ・コンサート		
	14:30	指揮:秋山和慶 管弦楽:東京交響楽団 司会:山田美也子 ♪J.S.バッハ:G線上のアリア / ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」 他		
	13 火	フォレストコンサート in 川崎 男声:澤田 薫、榛奈樹人、横山慎吾、塩入功司、今井俊輔、大野 隆		
	14:00	女声:中安千晶、小笠原優子、吉田 静、池田史花、財木麗子、谷原めぐみ ピアノ:南雲彩、吉野翠、山元佳那子 司会:石川牧子(予定)		お問合せ:バインオリジン 044-989-8548
	17 土	マンドリンアンサンブル・アマービレ 第22回 定期演奏会		
	13:30	指揮:岡本光生、黒野典栄 ♪L.イヴァノヴィチ:ドナウ川のさざなみ / L.モーツァルト:おもちゃの交響曲 / 武藤理恵編曲:チャプリンメドレー / K.ヴェルキ:大いなる時代 他		お問合せ:マンドリンアンサンブル・アマービレ(岡本)045-575-6419
主催	17 土	MUZA音楽サロン「音楽がもたらす力」第3回「心地よい音響」		
	14:00	演奏:久松 ちず(東京交響楽団コントラバス・フォアシュベラー奏者)、渡邊淳子(東京交響楽団コントラバス奏者) 他 ♪ポッテシーニ:グラン・デュエット第3番 他		会場:市民交流室 プレゼンター:小野 朗(永田音響設計 取締役プロジェクトチーフ)
主催	18 日	ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第135回		
	14:00	指揮:下野竜也 ヴァイオリン:三浦文彰 ♪兼田 敏(中原達彦編):パッサカリア(管弦楽版) / シューマン:ヴァイオリン協奏曲 / シューマン:交響曲第3番「ライン」		
	21 水祝	みなとみらい21交響楽団 第14回 定期演奏会		
	13:30	指揮:田部 井 剛 ♪大栗裕:大阪俗謡による幻想曲 / 芥川也寸志:交響三章 / ストラヴィンスキー:火の鳥(1910年原典版)		お問合せ:事務局(岸川) 070-6572-5690
	24 土	アマデウス・ソサイエティー管弦楽団 第50回 記念演奏会		
	13:30	指揮:川本真司 ピアノ:三船優子 ♪ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 / R.シュトラウス:交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」 他		お問合せ:アマデウス・ソサイエティー管弦楽団 広報担当 amadeus.society@gmail.com
主催	25 日	第7回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ		
	15:00	指揮:準・メルクル 管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ ♪ドビュッシー:交響組曲「春」/ シューマン:交響曲第1番「春」/ ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」		
主催	26 月	NTTアドバンステクノロジー Presents / MUZAランチタイムコンサート3月 こんなに楽しい!音楽室の楽器が奏でる名曲		
	12:10	演奏:おながくしつリオ【内藤晃(ピアノ) / 下中拓哉(リコーダー) / 菅谷詩織(鍵盤ハーモニカ)】 ♪オー・シャンゼリゼ 他		～春休み特別編♪4歳から入れます～
主催	27 火	MUZAスペシャル・ナイトコンサート90 エキサイティング・ナイト		
	19:00	アルトサックス:多田誠司 ピアノ:石井 彰 ベース:金澤英明 ドラムス:石若 駿 ビッグバンド: Dream Jazz Big Band SETAGAYA ♪A列車で行こう 他		
	28 水	神奈川県立生田高校吹奏楽部 第37回 定期演奏会		
	18:00	♪サン＝サーンス:交響曲第3番より / A.リード:アレルヤ・ラウダムス・テ / 真島俊夫:富士山(Mont Fuji)～北斎の版画に触発されて～ 他		お問合せ:神奈川県立生田高校(井上) 044-977-9827
	30 金	ラファウ・ブレハッチ ピアノ・リサイタル		
	19:00	♪モーツァルト:ピアノ・ソナタ 第8番 イ短調 K. 300d / シューマン:ピアノ・ソナタ 第2番 ト短調 Op. 22 / ショパン:4つのマズルカ 他		お問合せ:神奈川芸術協会 045-453-5080
	31 土	都響スペシャル インバル「悲愴」&「未完成」		
	14:00	指揮:エリアフ・インバル 管弦楽:東京都交響楽団 ♪シューベルト:交響曲第7番 ロ短調 D759《未完成》/ チャイコフスキー:交響曲第6番 ロ短調 Op.74《悲愴》		お問合せ:都響ガイド 0570-056-057

川崎市アートセンター
開館10周年記念事業
しんゆりシアター劇団わが町
第7回公演
クリスマス・キャロル



川崎市アートセンター開館10周年を記念し、イギリスの文豪ディケンズの名作『クリスマス・キャロル』を上演しました。1843年に出版されて以来世界中で愛され続けている作品で、冷酷無慈悲な初老のスクルージがクリスマスの夜に精霊が引き起こす不思議な出来事を通して改心する心温まる物語です。今回は音楽をふんだんに取り入れ、子どもから大人まで夢中になってご覧頂ける作品に仕上げました。親子連れの姿も多く再演希望の声もたくさん頂き、劇中歌を口ずさみながら劇場を後にする子どもたちも見られる等、幅広い世代に楽しんで頂けたようです。

(アルテリオ小劇場 12月14～17日)

東京交響楽団メンバーによる
「みんなの・みんなでコンサート」



「パラアート推進モデル事業」の一環として、ミュゼ川崎シンフォニーホールを活動拠点としている東京交響楽団のメンバーが、川崎市立田島支援学校を訪問し、「みんなの・みんなでコンサート」を行いました。

日頃から本格的な音楽に触れる機会が難しい高等部の生徒や、卒業生その保護者等、約200名が、弦楽四重奏「星に願いを」等の親しみやすいプログラムの後で、みんなで一緒に歌ったり演奏するなど参加し、東京交響楽団の本格的な演奏を鑑賞しながら、音楽の楽しさを身近に感じてもらいました。

(12月16日 川崎市立田島支援学校本校体育館)

第7回 前座・二ツ目
「お屋の落語」

今回は、前座の春風亭一猿さんと二ツ目の林家たこ平さんにお越し頂きました。

まずは一猿さんの「たたらちね」。師匠は春風亭一朝さんで、前座歴2年目。高座の準備



の時、何度も緋毛氈を直し綺麗にしていました。話も丁寧で上手だったと思います。

お次は、たこ平さんの「やかん」。師匠は林家正蔵さんで、どこなく口調も師匠に似ており少し惚けた感じがありました。まくらは落語界の興行についての話でした。なかなか興味深く面白かったです。この後休憩が入り、もう一度たこ平さんの登場。演目は夢がテーマの「天狗裁き」。落語の中で天狗が出てくる、めずらしいネタです。

最後に、出演者サイン入り色紙のプレゼントコーナー。じゃんけんで勝った方に差し上げました。

来年の前座・二ツ目は3月21日(水・祝)午後2時からです。お楽しみに。

(12月20日 東海道かわさき宿交流館)

野村万蔵による芸能サロン
～狂言を楽しもう～



新春第一弾の公演として、和泉流狂言の能楽師を迎えて「芸能サロン」を開催しました。

まず初めに野村万蔵さんが舞台に登場し、これから上演する演目を分かりやすく解説してくださり、主人の留守中に家来たちが蔵と蔵との間に樋を渡して酒を流し飲んでしまう「樋の酒」と、人間に化けた蚊の精と大名が相撲をとる「蚊相撲」の二番を上演しました。

新年に相応しいにぎやかで楽しい演目で、会場はたくさんの笑いに包まれました。

【お客さまの声より】

- とても面白く拝見しました。最初に能狂言について解説をしてくださり、大変わかりやすかったと思いました。他の公演も拝見したいと思います。(50代/男性)
- 間近に装束を観ることができ、収穫だった。お客様も良く、一緒に楽しめた一日だった。(50代/女性)
- 毎年の我が家の恒例行事になっています。楽しみにしていますので、これからも続けていただきたいです。(50代/女性)

(1月6日 川崎能楽堂)

ミュゼ川崎シンフォニーホール&
東京交響楽団
名曲全集 第133回



年明け最初の「名曲全集」は飯森範親によるオール・ロシア・プログラム。気鋭の若手アレクサンダー・ガヴリリウクの独奏によるプロコフィエフ：ピアノ協奏曲第1番は色彩感あふれる気迫の熱演でした。アンコールに(後半のメインプログラムの原曲である)展覧会の絵「キエフの大門」を演奏、まるで後半の予告編のような選曲に会場は大いに沸き返りました。後半のムソルグスキー／ラヴェル編：組曲「展覧会の絵」は、演奏頻度の高い作品ゆえの既視感を取り払った、刷新された構成で鮮やかに聴かせました。

(1月13日 ミュゼ川崎シンフォニーホール)

第67回
ラゾーナ寄席



2018年最初のラゾーナ寄席は、世話人である2人の真打がそろい踏み。

柳亭市若さんによる『出来心』で始まり、続いて桂米多朗師匠による『湯屋番』。豪華景品が当たる抽選会のあとは、林家楽一さんによる紙切り。会場のお客様からのリクエストに応え、「大谷翔平」、「七福神」など一見難題と思えるお題を、鮮やかに素早く切り出してプレゼントしていただきました。

トリは初音家左橋師匠による『らくだ』。古典落語の演目の一つで、数々の名演が残されています。「らくだ」と呼ばれている、乱暴で嫌われ者の男がフグ毒にあたり事切れます。男の兄貴分が弔いをするため、通りがかりの屑屋に声をかけますが……。登場人物のキャラクターを演じ分ける左橋師匠の見事な人物描写に会場は大拍手。新年にふさわしい大ネタでした。

ラゾーナ寄席は毎月第3火曜に開催。お得意に寄席をお楽しみいただける人気の年間会員、来年度の受付は2月に開始します。

(1月16日 ラゾーナ川崎プラザソル)

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2018.3

		1 Thu	2 Fri	3 Sat	4 Sun	5 Mon	6 Tue	7 Wed	8 Thu	9 Fri	10 Sat	11 Sun	12 Mon	13 Tue	14 Wed	15 Thu	16 Fri	17 Sat	18 Sun	19 Mon	20 Tue	21 Wed	22 Thu	23 Fri	24 Sat	25 Sun	26 Mon	27 Tue	28 Wed	29 Thu	30 Fri	31 Sat	
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室	楽しいハワイアンキルト展 ～3月4日(日)					第28回 虹の会展 3月6日(火)～11日(日)							白亜会 神奈川支部展 3月13日(火)～18日(日)							光彩フォトアート 写真展 3月20日(火)～25日(日)					群炎美術協会 神奈川支部展 3月27日(火)～4月1日(日)							
	第2展示室	スガ絵画同好会画展 ～3月4日(日)																															
	第3展示室	写真教室 グループ写真展 ～3月4日(日)											横浜美術大学 三人展 3月20日(火)～25日(日)												一線美術会 神奈川支部展 3月27日(火)～4月1日(日)								
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		教文まつり ～3月4日(日)																															
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1－11－2 (幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休 館 日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)										幸文化センター祭 3月10日(土)～11日(日)																							
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)			第28回木曜会作品展 3月2日(金)～7日(水)							空の会 書展 3月9日(金)～14日(水)					川崎総合科学高校写真部校外展 3月16日(金)～21日(水・祝)※19日休館					生涯学習プラザ陶芸作品展 3月23日(金)～28日(水)					グループフォト昴 写真展 3月30日(金)～4月4日(水)								
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)、3月22日(木)		有料	MJ's FES みうらじゅんフェス! マイブームの全貌展 SINCE 1958 (2F 企画展示室1、アートギャラリー 1・2・3) ～3月25日(日) 観覧料:一般800円、大学生・高校生・65歳以上600円、中学生以下無料																														
			第51回 かわさき市美術展 (2F 企画展示室2) 3月3日(土)～17日(土) 観覧料:無料																														
			第5回 版画アトリエ指導員展 Interlap colors (3F ミュージアムギャラリー) 3月3日(土)～17日(土) 観覧料:無料																														
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)			愛となぐさめのベビーキルト展 3月2日(金)～7日(水)							青舟書院展 3月9日(金)～14日(水)					フォトサークル無限 写真展 3月16日(金)～21日(水・祝)※19日休館					木陽会 絵画展 3月23日(金)～28日(水)					セイフウ会展 3月30日(金)～4月4日(水)								
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)			社会福祉法人みのり会 第6回みのり会作品展 3月2日(金)～7日(水)					宮前区役所生涯学習支援課 生涯学習交流集会 3月10日(土)					宮前水墨画同好会 水墨南画展 3月16日(金)～21日(水・祝)※19日休館					市民プラザ彩の会 彩の会油絵展 3月23日(金)～28日(水)					アトリエどんぐり 作品展2018 3月30日(金)～4月4日(水)										
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)			稲田堤写真友会写真展 3月2日(金)～7日(水)					たま学びのフェア ギャラリー「たまゆら」 3月9日(金)～14日(水)					グループ華 いけ花と切り絵と能面のコラボレーション 3月16日(金)～21日(水・祝)※19日休館					ゆりの会 色鉛筆画展 3月23日(金)～28日(水)					中野島いこいの家 彩遊会 水彩画展示会 3月30日(金)～4月4日(水)										
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 3月22日(木)、23(金)	企画展	有料	企画展「第21回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」～4月15日(日) 観覧料:一般700円、高校・大学生・65歳以上500円、中学生以下無料 ※常設展もあわせてご覧いただけます。																														
	常設展		有料	常設展「敏子さん、岡本太郎のこと教えて。」～4月15日(日) 企画展観覧料に準ずる。																													
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)				第2回 パステルアートを楽しむ会 3月2日(金)～7日(水)					日和会展 3月9日(金)～14日(水)					Photo Club写光 第10回写真展 3月16日(金)～21日(水・祝)※19日休館					三水会展 3月23日(金)～28日(水)														
新百合トウェンティワンホール(麻生区) 麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビルB2 TEL: 044-952-500 【休館日】3月26日(月)			アルテリッカ新ゆり美術展2018 3月5日(月)～11日(日)																														

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

開催中～3月25日(日)

MJ's FES みうらじゅんフェス！ マイブームの全貌展 SINCE 1958

- 会 場：2F企画展示室1、アートギャラリー1・2・3
- 観覧料：一般800円(640円)、
大学生・高校生・65歳以上600円(480円)、
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金です。

「マイブーム」「ゆるキャラ」などの命名者であり、現在の「仙像ブーム」を牽引してきたみうらじゅんは、2018年2月1日で還暦を迎えました。本展では、みうらじゅんの生誕60年を記念し、膨大かつ深遠な創作活動に迫り、「マイブーム」の起源と全貌を明らかにします。

〈関連イベント〉

■3/11(日)、3/21(水・祝)

①学芸員によるギャラリートーク

各日14:00～ 2F企画展示室1前集合／当日先着順／要観覧券(半券可)

②「長髪大怪獣ゲハラ」ミニホール上映(企画・脚本 みうらじゅん／約21分)

各日15:00～ 3Fミニホール／当日先着順／参加無料



グラフィア・ガエル 2002年



怪獣スクラップ 1965～1967年

3/3(土)～3/17(土) ※会期最終日は15:00まで。＊観覧無料

第51回 かわさき市美術展

- 会 場：2F企画展示室2

「かわさき市美術展」は、昭和42年度から現在まで続く市内で最も歴史ある公募展です。川崎市在住もしくは市内で制作活動をされている方を対象とした公募作品より、今年の入賞・入選作品をご紹介します。最終日の13:00からは表彰式も開催します。



第50回最優秀賞「夢の夢家」
吉永 望

3/3(土)～3/17(土)

＊観覧無料

第5回 版画アトリエ指導員展 Interlap colors

- 会 場：3Fミュージアムギャラリー1

当館で毎週日曜日に開催している「版画アトリエ開放」の指導員、米澤寛子と大杉祥子の成果発表展です。

シルクスクリーン・リトグラフなどの技術を用いて版表現の可能性を探っています。また、版画アトリエで制作している方の作品も一緒にご紹介します。



「Vessel_71」米澤寛子



「紙人形(上野様子)」大杉祥子

〈関連イベント〉アーティストトーク&オープンスタジオ

3/4(日)14:00～15:00(当日直接会場へ)

映 画 上 映

- 料金：1プログラムにつき 一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)
- 会場：映像ホール(定員270名)

■毎日映画コンクールを彩った男優たち

～毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞作品～

- 『マタギ』 3/10(土)、18(日)各日11:30～
1982年／カラー／35mm／104分／監督：後藤俊夫
＊第37回毎日映画コンクール男優演技賞(西村晃)受賞
- 『権機(らんる)の旗』 3/10(土)14:00～、17(日)11:30～
1974年／モノクロ／35mm／113分／監督：吉村公三郎
＊第29回毎日映画コンクール男優演技賞(三國連太郎)受賞
- 『ザ・中学教師』 3/11(日)11:30～、17(日)14:00～
1992年／カラー／35mm／106分／監督：平山秀幸
＊第47回毎日映画コンクール男優主演賞(長塚京三)受賞
- 『火まつり』 3/11(日)、18(日)各日14:00～
1985年／カラー／35mm／127分／監督：柳町光男
＊第40回毎日映画コンクール男優主演賞(北大路欣也)・脚本賞(中上健次)・日本映画優秀賞受賞



ザ・中学教師

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅南口側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休 館 日】月曜日、3月22日(木)
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中！



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～4月15日(日)

「敏子さん、岡本太郎のこと教えて。」

1948年、岡本敏子は岡本太郎に出会い、その後、公私にわたるパートナーとして、また、生涯太郎を支える存在として活躍しました。本展覧会では、「芸術家 岡本太郎」が、太郎その人自身だけでなく、敏子によっても大きく支えられていたことを紹介します。



旅行中の岡本太郎(左)と敏子(右)1957年

展覧会料金等

休館日：月曜日、3月22日(木)、3月23日(金)

料 金：一般700(560)円、高校・大学生・65歳以上500(400)円、中学生以下無料
※()は20名以上の団体料金 ※企画展と常設展のセット料金

企画展／開催中～4月15日(日)

「第21回岡本太郎 現代芸術賞(TARO賞)」展 時代を創造する者は誰か！

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で21回目をむかえる本賞では、558点の応募があり、厳正な審査を行いました結果、26名(組)が入選をはたしました。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧ください。



第20回岡本太郎賞
山本直樹(Miss Iieの見た風景)

〈その他イベント情報〉

はいはい&よちよち美術館ツアー

小さなお子さんご家族のためのツアーです。太郎さんの作品を、お子さんと一緒にゆったりとお楽しみください。

- 日時：2018年3月14日(水) 10:30～11:30
- 対象：3か月～3才までのお子さんご家族の方
- 定員：10組
- 場所：常設展示室 ●料金：無料(保護者のみ要観覧料)
- 申込：電話受付(2月21日10:00から受付開始)



ナイトミュージアム

閉館後の夜の美術館を学芸員がご案内する、大人限定「ナイトミュージアム」を開催します。普段は決まて入ることのできない、バックヤードにもご案内します。また、観覧の後には、カフェテリアTAROにてワンドリンクお楽しみいただけます。昼にはない、静かでゆっくりとした美術館の夜を楽しんでみませんか？

- 日時：3月10(土) 17:15～20:00 ●対象：20歳以上 ●定員：20名
- 場所：美術館常設展示室、バックヤード ほか ●料金：1500円(観覧料を含む)
- 申込：電話受付(2月23日(金)10:00から受付開始 先着順)

宮前ミュージックミュージアム

「みやまろビーコンサート」弦楽トリオが奏でる優雅な調べを美術館で開催します。

当日は美術館入館料も特別入館料300円になります。音楽とアートの日をお楽しみください。

- 日時：2018年3月21日(水・祝) 開場11:30 開演12:05
- 対象：どなたでも(当日先着順) ●場所：美術館ギャラリースペース
- 出演：安藤梨乃(ヴァイオリン)、中野綾子(ヴィオラ)、成澤美陽(チェロ)
- 料金：無料



※その他、関連イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL. 900-9898 FAX. 900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休 館 日】月曜日、3月22日(木)、3月23日(金)
<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
http://kawasaki-ac.jp/
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



人形劇団ひとみ座 創立70周年記念プレ公演

エドワード・ゴーリーのにんぎょうばき うろんなむし

原作:エドワード・ゴーリー『うろんな客』『むしのほん』(河出書房新社刊) 訳:柴田元幸
構成・演出:友松正人・石川哲次 美術:高橋ちひろ ナレーション(録音):高木 渉

世界に熱狂的なファンをもつナンセンスの鬼才エドワード・ゴーリーの絵本を人形劇化。

2018年3月15日(木)～20日(火) 【人形遣い】松本幸子、小林加弥子、蓬田雅代 ほか

※開場は開演の30分前

	15(木)	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)
11:00			●	●		
14:00	●				●	●
15:00			●	●		
19:00	●	●			●	

【チケット】一般3,000円／

学生2,000円(全席指定・税込)

※当日は500円増 ※未就学児入場不可

主催・お問合せ:人形劇団ひとみ座

044-777-2225(10:00～18:00日休)

提携:川崎市アートセンター



しんゆりジャズスクエアvol.33

親子で楽しめるジャズライブ第3弾

誰もが大好きなディズニーソングを男女デュオボーカルで!
(予定曲)君はともだち(トイ・ストーリー)、
生まれてはじめて(アナと雪の女王)、
ハクナ・マタタ(ライオンキング)、
A whole new world(アラジン) ほか



高橋奈保子(vo)



河波浩平(vo)



佐久間優子(p)



田辺充邦(g)



平山織絵(vc)

2018年3月23日(金) 17:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】高橋奈保子(vo)、河波浩平(vo)、佐久間優子(p)、田辺充邦(g)、平山織絵(vc)

【チケット】一般3,500円／子ども(4歳～小学生)1,500円(全席自由・税込)

※2枚セット券:6,000円／4枚セット券:10,000円(セット券で子ども料金のお取り扱いはありません。)*3歳以下はひざ上1名無料

第60回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

瀧川鯉昇が「ねずみ」を披露!

「ねずみ」は日光東照宮の眠り猫などを製作した彫刻職人の名匠・左甚五郎が、貧しい宿屋の繁盛を願う。

左甚五郎が旅の途中で泊まった宿屋「鼠屋」はとても貧しく、その理由を不憫に思った甚五郎がねずみの彫刻を彫り、それを店先に置くと...



瀧川鯉昇



桂米多朗

2018年3月24日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】瀧川鯉昇、桂米多朗、瀧川鯉津、三遊亭金の助

【チケット】一般2,000円／学生1,000円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。

一人でも、何人一緒でもご利用可。

●プレミアムセット:4枚1組 6,000円

●大旦那衆セット:10枚1組 12,000円

※有効期限は2018年3月公演まで。払い戻し不可。

【お知らせ】仲入りで演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

川崎・しんゆり芸術祭

速報

文学座こどもげき

「三匹のこぶた ～みんなでいっしょに劇づくり～」

こどもおとなもワクワク、ブービー!お芝居の前には劇中で使用する小道具をみんなで作り、お芝居に参加しちゃいます!

4/29(日・祝)～30(月・振)

デフ・パペットシアター・ひとみ

「森と夜と世界の果てへの旅」

日本で唯一のろう者と聴者が共につくるプロの人形劇団による、ハラハラドキドキの冒険物語!

5/5(土・祝)～6(日)

青年座

「江戸怪奇譚～ムカサリ」

落語の「ムカサリ」をもとに創りあげる、おかしくてコワイ、山路和弘のひとり語り!

5/12(土)～13(日)

お問合せ:川崎・しんゆり芸術祭2018実行委員会事務局 044-952-5024

チケット取扱い(しんゆりジャズスクエアとしんゆり寄席のみ)

川崎市アートセンター [TEL] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[WEB] http://kawasaki-ac.jp/th/ [窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)

●ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取り扱いしております。044-954-9990(月～金、10:00～18:00)

●しんゆり寄席の学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。またセット券は窓口とお電話のみ取扱い。



恋多き女

[デジタル修復版]

Elena et les hommes

Introduction

イントロダクション

歌って 恋をして 人生は祝祭!

ベル・エポック よき時代のパリ

20 世紀初めのフランスを舞台に、ポーランドから来た美貌の公女エレナが巻き起こす恋愛騒動を描く名作。革命記念日に沸くパリで、エレナに恋した3人の男たち、国民的人気の将軍ロラン、その親友の伯爵アンリ、富豪の実業家マルタン＝ミショー。彼らの行動はやがてフランスの国家体制を揺るがしていく。将軍による王政復古か? 共和制の維持か? フランスの運命は、いつしか公女エレナの純粋な心にゆだねられていた…。ジャン・ルノワール監督が、美しい映像とともに綴る、心躍る恋愛讃歌である。

主演はイングリッド・バーグマン。ハリウッドと家庭を捨て、イタリアの名匠ロベルト・ロッセリーニと結婚した世紀のスクandalから6年。『大いなる幻影』の名監督ジャン・ルノワールのもとで、変わらぬ美しさをあでやかに披露し、ハリウッド復帰のきっかけとなった恋愛喜劇である。共演はフランスの二枚目俳優ジャン・マレーと、この頃オードリー・ヘプバーンと結婚していたメル・ファーラー。そして特別出演の歌姫ジュリエット・グレコが大輪の花を添えている。

About the film

作品について

恋多き女 デジタル修復版

1956年 | フランス | カラー | 1h39

監督:ジャン・ルノワール

出演:イングリッド・バーグマン、ジャン・マレー、メル・ファーラー、ジャン・リシャール

2018.3.3-

川崎市アートセンターの10周年を記念して、ジャン・ルノワール監督『大いなる幻影 デジタル修復版』と『恋多き女 デジタル修復版』を配給・上映いたします。



川崎市アートセンター



はじめてのおもてなし

2016年 | ドイツ | カラー | 1h56

監督・脚本：サイモン・バーホーベン

出演：センタ・バーガー、ハイナー・ラウター
パツハ

2.24-3.9

ミュンヘンの閑静な住宅街に住む一家。父は引退勧告を突っぱねる大病院の医長、母は定年退職した元教師。子供たちも成長し、ヒマを持て余す母は、アフリカからの難民をひとり受け入れると宣言する。難民問題で揺れるドイツで大ヒットを記録したホームコメディ。



ライオンは今夜死ぬ

2017年 | フランス、日本 | カラー | 1h43

監督・脚本：諏訪敦彦

出演：ジャン＝ピエール・レオー、ポーリーヌ・エチエンヌ、モード・ワイラー

2.24-3.9

かつて愛した女性の幻とともに時を過ごす、年老いた俳優。死に魅入られたかのような彼の前に、映画撮影ワークショップの子どもたちが賑やかに現れる。フランスでも評価の高い諏訪敦彦監督による、ヌーヴェル・ヴァーグの申し子、ジャン＝ピエール・レオー主演作。



ベロニカとの記憶

2015年 | イギリス | カラー | 1h48

監督：リテーシュ・バトラ

出演：シャーロット・ランプリング、ジム・プロードベント、ミシェル・ドックリ

3.3-3.16

ロンドンで引退生活を送るトニーの元にある日、彼に日記を遺した女性がいるとの知らせが届く。長い間忘れていた青春時代の記憶、若くして自殺した親友、初恋の秘密…過去の謎が日記によって次第に明らかになってゆく。ブッカー賞に輝いたジュリアン・バーンズの小説「終わりの感覚」(新潮社)の映画化。



苦い銭

2016年 | フランス、香港 | カラー | 2h43

監督：ワン・ピン

3.17-3.30

出稼ぎ労働者が8割を占める街、中国・浙江省湖州。14億が生きる巨大中国の片隅で、1元の金に一喜一憂する様々な労働者に密着したドキュメンタリー。ドキュメンタリーにもかかわらず、第73回ベネチア映画祭オリゾンティ部門脚本賞を受賞した名匠ワン・ピン監督最新作。



ぼくの名前はズッキーニ

2016年 | スイス、フランス | カラー | 1h06

監督：クロード・パラス

原作：ジル・パリス「ぼくの名前はズッキーニ」

3.17-3.30

不慮の事故で母親を亡くし、孤児となった9歳の少年「ズッキーニ」が孤児院での出会いなどを通じて、明日への希望を見出してゆく姿をユーモアと共に綴った心温まる珠玉の物語。第89回アカデミー賞長編アニメーション部門にノミネートされるなど、世界各国で高く評価されるストップモーション・アニメーションの傑作。



ローズの秘密の頁

2016年 | アイルランド | カラー | 1h48

監督・脚本：ジム・シェリダン

出演：ルーニー・マール、ヴァネッサ・レッドグレイヴ、エリック・バナ

3.10-3.23

40年にわたり病院に収容されていた老女の知られざる過去がひとりの医師と一冊の聖書によって紐解かれる感動のドラマ。1940年代、激動の時代に翻弄されながらも、たった一つの愛を貫いた女性の封印されてきた衝撃の事実を、現在と過去の時間軸を行き来しながら描く。主演はルーニー・マール。



ピンカートンに会いに行く

2017年 | 日本 | カラー | 1h26

監督・脚本：坂下雄一郎

出演：内田慈、松本若菜、山田真歩、田村健太郎

3.17-3.30

ブレイク寸前で突然解説した伝説の5人組アイドル「ピンカートン」。リーダーだった優子は売れないながらも女優活動が続いていたが、再起をかけ20年越しに「ピンカートン」を再結成させるべく奮闘する。過去のわだかまり、不完全燃焼のまま過ぎていった日々と対峙する女性達を描いたコメディ。



ゆるる人魚

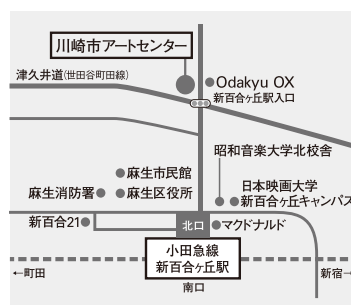
2015年 | ポーランド | カラー | 1h32

監督：アグニェシュカ・スモチンスカ

出演：キング・ブレイス、マルタ・マズレク、ミハリーナ・オルジャンスカ

3.24-3.30

舞台を1980年代のワルシャワに移し、アンデルセンの『人魚姫』にツイストを加えた、ホラー・ファンタジー・ミュージカル。人間を捕食して生きる美しい人魚姉妹のひとり、ミュージシャンの青年に恋に落ちるが…ポーランドの新鋭女性監督アグニェシュカ・スモチンスカ監督の長編デビュー作。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200

info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第3火曜日
のお楽しみ
2018

ラゾーナ寄席

第69回

2018年

3月20日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…三遊亭兼好・初音家左橋・初音家左吉・三遊亭まん坊

■入場料…全席自由2,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭兼好

能と狂言

第二三回 川崎市定期能

二部:能「舍利」高橋 忍
撮影:辻井清一郎一部:能「羽衣」金春恵和
撮影:辻井清一郎

能

舍利

「しゃり」

本田芳樹(金春流)

狂言

伯母ヶ酒

「おはがさけ」

大藏教義(大藏流)

15時00分開場
15時30分開演

第二部

平成30年3月25日(日)
会場 川崎能楽堂
入場料:各部 4,000円
(全席指定)
U25 3,000円

※厳正な中止面エリヤのみ希望者可、25歳以下の若
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ち
ください。

能

羽衣

「はごろも」

山井綱雄(金春流)

狂言

昆布売

「こぶり」

大藏教義(大藏流)

12時30分開場
13時00分開演

第一部

チケット発売日 平成30年2月14日(水) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順) *残券があれば、同日正午より電話・ホームページでも販売いたします。

チケット取扱・お 問 合 せ 川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 (9:00~17:00) *但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。
川崎市文化財団ホームページ http://www.kbz.or.jp/event/noh/20180325/ *ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。

主催:(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817

*開演後にはご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。



定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が実演つきでわかりやすく解説します。

◆日時:平成30年3月10日(土)10:00~12:00

◆会場:川崎能楽堂

◆講師

高橋 忍(金春流・シテ方) 他

◆定員:148名(先着順)

◆料金:無料

*第113回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成30年3月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311